

＜ 中高年看護師の業務遂行上の困難に対する看護管理者の理解と組織的な支援の現状 ＞

研究年度 令和4年度

研究期間 令和4年度～令和5年度

研究代表者名 山澄直美

I はじめに

本研究の目的は、中高年看護師が加齢に伴い直面する業務遂行上の困難に対する看護管理者の理解と組織的な支援の現状を明らかにすることである。看護師の生涯を通じた就業継続に向けては、日本看護協会が「労働安全衛生ガイドライン」等を公表し、職場環境の改善への取り組みが進められ、新人看護師、出産・子育て世代支援に向けた制度の整備も実現している。しかし、加齢に伴い様々な身体的変化が生じる中高年看護師に向けた根拠に基づく支援の方法は提示されていない。研究者らは、中高年看護師の加齢による身体的変化に伴う業務遂行上の困難と困難への対処の内容を質的に明らかにした（廣島・山澄，2021）。明らかになった困難に対して、現在、看護管理者がどの程度理解し、困難の克服に向けた組織的な支援がどの程度どのように行われているかを明らかにすることは、困難を克服し、中高年看護師が健康を保ちながら就業を継続するために必要な方策を検討するための資料となる。

本研究の意義は、中高年看護師が加齢に伴い直面する業務遂行上の困難に適切に対処し、就業を継続するための組織的な支援の方策を見出すための資料となることである。看護職としての臨床知を有する中高年看護師は、少子化により看護職となる若年世代の増加を望めないわが国において、医療の質担保に向けて、不可欠な存在である。しかし、同時に、加齢に伴う身体的変化は、回避することができず、それに伴う業務遂行上の困難に直面している。業務上の困難克服に向けた組織的な支援を促進することは、中高年看護師が医療の場において無理なく就業することにつながり、看護人材の確保につながる。

本研究の学術的・社会的な特色および独創性は次の通りである。本研究は、中高年看護師が加齢に伴う身体的変化により直面する業務遂行上の困難に焦点をあて質的に解明した成果（廣島・山澄，2021）に基づき、解明された18の困難に対する看護管理者の理解と組織的な支援の現状を明らかにする。研究成果は、多様な背景を持つ看護師339名の回答を分析し、得られた結果であり、中高年看護師の業務遂行上の困難を包括的に解明している。中高年看護師が加齢に伴いどのような身体的問題や健康上の問題を抱えているかを解明した研究は散見されるが、それらが、どのような業務遂行上の困難につながるかの詳細は解明されていなかった。加齢に伴う身体的変化は、避けることができないが、人的・物的環境の整備などにより業務遂行上の困難を克服することは可能である。本研究は、業務遂行上の困難という視点から、就業継続に向けて、どのような支援が必要であるかを検討するための資料となる。また、看護職の就業継続に向けた取り組みとして、ほとんど焦点が当てられていない中高年看護師の就業継続に向けた支援を見出すそうと試みる点も独創的な点である。

II 研究方法

研究対象者は、医療機関に所属する看護管理者または看護管理責任者8名程度と計画した。データ収集方法には、面接法を用いて、①所属施設における中高年看護師の就業状況、②中高年看護師が直面する業務遂行上の困難についての理解、③困難に対して組織的に行っている支援の内容、④中高年看護師の業務遂行上の困難への対処についての理解、⑤中高年看護師の就業継続に対する考え等を聴取する。結果は、質的帰納的に分析する。

III 研究経過

データ収集に着手する前に中高年看護師の就業継続に向けた取り組みについての関連文献や海外の最新論文、看護師以外の中高年労働者に関する現状などの文献等を用いて広く情報収集を行った。その結果、先に着手すべき研究があることを確認した。そのため、結果として計画していたデータ収集は実施しなかった。先に着手すべきと考えた研究については、令和5年度科学研究費（基盤研究C）に研究課題「中高年看護師の就業継続に向けた業務遂行困難度アセスメントツールと対処指針の開発」として応募し採択となった。この研究課題は、質的帰納的に解明された中高年看護師の加齢による身体的変化に伴う業務遂行上の困難と困難への対処の内容に基づき、中高年看護師の業務遂行上の困難度を査定するアセスメントツールを開発するとともに、個人及び組織が困難の軽減に向けて適切に対処するための指針を作成することを目的とする。開発する困難への対処指針には、組織としての取り組みも含まれるため、看護管理者を対象にしたインタビューを計画している。新たな研究課題の研究の意義も本研究と同様、中高年看護師の就業継続に活用できることである。

文献

廣島真理子・山澄直美（2021）：中高年看護師が加齢による身体的変化に伴い直面する業務遂行上の困難と困難への対処，第41回日本看護科学学会学術集会講演集